臨床研究に関する情報の公開

作成日：2025/09/04

研究課題名	術前補助化学療法(NAC-GS)を施行した解剖学的切除可能膵癌における術後早期再発の予測因子を検討する全国多機関後方視的検討（NAC-PIONEER trial）
研究の対象	2019年1月1日から2024年6月30日までの間に、切除可能膵癌に対して、ゲムシタビン塩酸塩とティーエスワンを用いた術前補助化学療法（NAC-GS）で初回治療を開始後に根治切除術を受けた方
研究目的・方法	【研究の目的・意義】 膵癌に対する治療戦略は切除可能性分類に従って行われています。その中で、切除可能膵癌に対しては、ゲムシタビン塩酸塩とティーエスワンを用いた術前補助化学療法(NAC-GS)を行うことが標準治療とされています。しかし、NAC-GS後に根治切除術を施行しても、術後早期に再発をきたすことがあります。術前補助化学療法後に根治切除した場合の生存成績について多数例での詳細な検討の報告はなく、早期再発の予測因子は明らかではありません。本研究ではNAC-GS後の切除可能膵癌における術後早期再発の予測因子を同定することを目的とし、これは膵癌の治療戦略の再考や更なる予後延長にとって重要です。 【研究の方法】 カルテの診療録から必要な診療情報を収集し、統計学的に解析を行います。 研究期間：許可日～2027年12月31日
研究に用いる試料・情報の種類	臨床データを電子カルテより収集し、NAC-GS後切除症例における早期再発と関連した臨床病理学的因子、手術因子を探索します。また、各機関においてNAC後の切除適応基準についてアンケート調査を行います。
外部への試料・情報の提供	各施設で集積したデータは富山大学の研究事務局へ、パスワードをつけたExcelファイルをメールで送付します。 収集したデータの統合、解析の実施は統計解析責任者で行います。
研究組織	富山大学　消化器・腫瘍・総合外科　教授　藤井努 他、共同研究機関一覧をご参照ください。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先： 〒530-8480 大阪市北区扇町2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話：06-6312-1221、FAX：06-6312-8867 消化器外科　医員　仲野健三 研究責任者： 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 消化器外科　寺嶋宏明 主任部長　田浦康二朗 研究代表者： 富山大学　学術研究部医学系　消化器・腫瘍・総合外科　教授　藤井努